

## 藤田記念庭園の催し

## 【夜間開園】

ライトアップされた幻想的な日本庭園を散策してみませんか？



▼とき 9月26日(土)  
午後5時～8時

▼ところ 洋館(藤田謙一資料室)、高台部、低地部

▼入園料 大人＝320円／子ども＝100円

※詳しくは問い合わせを。

問藤田記念庭園(上白銀町、☎ 37-5525)

## 郷土文学館の催し

## 【ラウンジのひととき】

▼とき 10月3日(土)  
午後2時～3時

▼ところ 郷土文学館2階ラウンジ

▼内容 語る会による朗読「文学と津軽富士」

▼定員 15人(先着順)

▼観覧料 無料(ただし入館料は必要)

▼申し込み方法 電話またはカウンターで申し込みを。

※あおもり県民カレッジ単位認定講座。

## 【文学忌】

郷土文学館ロビーで、常設作家を中心に「文学忌」を開催しています。各作家の忌日を含め1週間の特別展示を行います。

## 第6回「一戸謙三」

▼期間 9月26日(土)～10月2日(金)

※忌日の10月1日(木)は無

料開館。

## 第7回「石坂洋次郎」

▼期間 10月3日(土)～9日(金)

※忌日の10月7日(水)は無料開館。

## 第8回「福士幸次郎」

▼期間 10月10日(土)～16日(金)

※忌日の10月11日(日)は無料開館。

～共通事項～

▼入館料 高校生以上＝100円／小・中学生＝50円

※障がい者、65歳以上の市民、市内の小・中学生や外国人留学生、ひろさき多子家族応援パスポートを持参の人は無料。年齢や住所を確認できるものの提示を。

問郷土文学館(下白銀町、☎ 37-5505)

## わいわいスポーツクラブ「ボッチャ」開催!!

東京2020パラリンピック正式競技であるボッチャを障がいの有無に関わらず体験できます。

▼とき 10月3日(土)  
午後1時～3時

▼ところ 市民体育館(五十石町)

▼対象 小・中学生(障がいの有無は問いません)＝20人(先着順)

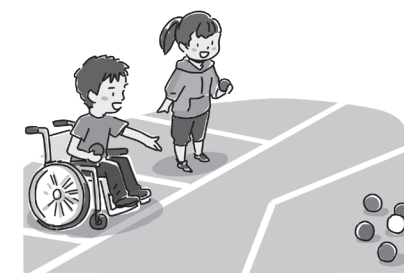
▼参加料 50円(保険料として)

▼申し込み方法 9月28日(月)までに、申込書を提出してください。

※参加希望者に申込書をEメールまたは郵送します。詳しくは問い合わせを。

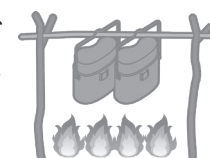
問弘前大学教育学部附属特別支援学校地域連携部(對馬さん、〒036-8174、富野町1の

76、☎ 36-5011、F 36-5012、E t-tsushima@hirosaki-u.ac.jp)



## 自然の中でキャンプ飯を作ろう!

自然の中でキャンプ飯に挑戦してみよう!



▼とき 10月4日(日)、午前9時30分～午後2時30分(雨天決行)

▼集合・解散場所 こどもの森ビジターセンター(坂元字山元、久渡寺境内)

※お弁当広場にて昼食。

▼定員 10人(先着順)

▼参加料 1,500円

▼持ち物 お米1合、飲み物、タオル、替えの下着・靴下、雨具

▼申し込み方法 9月15日(火)～30日(水)に、電話で申し込みを。

問こどもの森ビジターセンター(☎ 88-3923)／市みどりの協会(☎ 33-8733)

## 太宰治ドラマリーディング 津軽カトリスト 秋の定期公演

秋にまつわる作品を特集した、臨場感あふれる朗読劇ステージです。

▼とき 10月10日(土)  
午後2時～3時20分

▼ところ 太宰治まなびの家(旧藤田家住宅、御幸町)

▼上演作品 『リイズ』、『恥』、

『禁酒の心』など全5作品

※YouTubeでのライブ配信も実施。右記QRコードから視聴することができ  
ます(閲覧にかかる通信料は自己負担となります)。



▼入場料 無料

※事前の申し込みは不要。弘前厚生学院の駐車場を利用可。

問津軽カトリスト(平田さん、☎ 090-3123-3861)

※令和2年度市民参加型まちづくり1%システム採択事業。

## みんなのウォークラリー大会

コースに設置したチェックポイントをめぐり、さまざまな問題をクリアしたり、「㊦」を発見しながら弘前の街を歩く「ウォークラリー」を楽しみませんか。

▼とき 10月11日(日)、午前10時～午後0時30分

※受け付けは午前9時30分～

▼集合 蓬萊広場(土手町)

▼定員 16組(先着順)

▼参加料 大人＝200円／小学生以下＝100円(未就学児は無料)

※小学生以下のみでの参加は不可。

▼申し込み方法 10月7日(水)までに、氏名・住所・年齢・連絡先・チーム名を記入の上、ファクスまたはEメールで申し込みを。

▼その他 天候の状況などにより中止する場合は、申込者へ連絡します。

問ひろさきレクリエーション協会(☎ 070-3996-3873、F 55-8723、E npo.hirorec@gmail.com)

※令和2年度市民参加型まちづくり1%システム採択事業。

## 鳴海要生誕 100 年記念講演会

大正9(1920)年、旧岩木町に生まれた鳴海要(なるみかなめ)は、人間国宝の加藤土師萌(かとうはじめ)に師事して陶芸を学び、帰郷後は半農半陶の精神でりんご釉(ゆう)の陶芸家として多くの作品を遺しました。



ひたむきに取り組む要を慕って集まった地元の人たちは、現在も鳴海要記念陶房館に集うなど文化活動にいそしみ、その精神を受け継いでいます。

本年は鳴海要生誕100年を記念し、講演会などを開催して故人を顕彰します。

## 記念講演会

▼とき 10月4日(日)、午後2時～4時

▼ところ 中央公民館岩木館(賀田1丁目)2階大ホール

▼内容 ①「半農半陶から半陶半集へ」…講師：五十嵐雅幸さん(旧岩木町鳴海要記念陶房館整備担当)／②「鳴海要が津軽の陶芸界に残した

こと」…講師：小山陽久さん(陶芸家、津軽千代造窯主宰)

▼入場料 無料

※事前の申し込みは不要。

## 鳴海要陶芸展

▼とき 10月1日(木)～31日(土)の午前9時～午後4時(火曜日は休み)

▼ところ 鳴海要記念陶房館(賀田字大浦)

▼入場料 無料(常設展示室は有料〈一般＝200円／小・中学生および高校生＝150円〉)



▲窯(よう)変林檎釉大壺(個人蔵)

～共通事項～

※新型コロナウイルス感染予防のため、マスクの着用をお願いします。また3密を避けるため一定数以上の来場がある場合は、入場を制限することもありますので、ご了承ください。

問市立博物館(☎ 35-0700)／鳴海要記念陶房館(☎ 82-2902、火曜日は休み)